ブラック企業の青年を救う力になりたい

越智代議員
（書記局支部）

労働組合や世の中のことを勉強するようになり「労働組合があるだけで全然違う」「今の労働環境があったり、少なくても給料が上がるのは労働組合があるから」と気づいた。

以前に勤めていた民間企業の後輩に「上司の指示で朝や夕方のムダな残業が減った」と聞いた。府職労や全国の労働組合が声をあげて、サービス残業をなくす運動を進め厚生労働省に通知を出させたことが、労働組合のない会社にも影響している。府職労でがんばることが、ブラック企業で働く青年たちを救う力につながればと思う。

僕のように政治や世の中のことは関係ないと思い、労働組合のこともよくわからない青年は多いと思う。自分たちの生活や労働条件に直接関わるということを知り、行動すれば必ず現状を変えられると思う。今は入って当たり前」という組合づくりをめざしたい。役員だけがんばっても限界がある。組合員に頼ってみんなで一緒に、一人でも多くの仲間を組合に迎え入れたい。

仲間の輪を広げ、楽しい青年部活動を

山岡代議員
（青年部／保健所支部）

4月に入庁し、保健所の窓口業務を担当している。窓口業務の職場では、府民のニーズにしっかり応えることが重要で、職員の配置は人数だけではなく、府民のニーズに応じて、性別や年齢層にも十分な配慮が必要だと感じている。

青年部は8月に定期大会を開催し、10名の常任委員会体制を確立した。仲間の輪を広げ、青年部全体を盛り上げたい。組合活動は職場や職種の異なる人と知り合う機会も多く、仲良くなれるのも大きな魅力。労働条件改善のために青年の声も広く集めたい。集まった青年の要求を実現するために、青年部大会で決定した要求書の提出に向けて取り組みを進めている。

青年も府民のために日夜奮闘している。当たり前のことをバカにせず、ちゃんと取り組む青年のがんばりが報われるよう全力で取り組みを進める。

必要な職員を増やし府民のための仕事を

原代議員
（務農林支部）

職員を増やして長時間労働解消を

谷代議員
（土建支部）

大阪府は府営住宅の各市への移管を進めようとしている。各市の維持管理の水準ごとにサービスの差が出る可能性も危惧される。

職場では「人が足りない」「適正な人員配置をしてほしい」という意見が多くある。新規採用職員や転入職員に仕事を教える余裕すらない状態。住民説明会や災害対応など、緊急でやむを得ない業務等が時間外勤務の上限規制の対象外となっており、実際の時間外勤務数が明らかになっていない。職員の健康管理が危ぶまれている。支部としても上限対象業務の精査を追っていく。

府民の安全まもるいい仕事のために

中森代議員
（土木現場支部）

土木事務所には残業する職員が多くいる。今年は台風21号等による大きな災害もあり、職員が不足するも危機管理が不十分だと感じた。土砂崩れした道路を通行止めにし、交通誘導を行うときは、ガードマンの不足も重なり、職員が約2週間24時間体制で対応に追われた。通常業務に加え、緊急事態に対応し、職員は

「働き方改革」は、残業代ゼロ制度をつくり、月100時間もの残業を合法化するもの。

大阪府でも職員は自分の時間も体力も気力もすり減らし、長時間労働を重ねている。府職労の「働き方実態調査」では、労働基準法に反する違法な実態や職場環境の劣化が明らかになった。職員と職場の疲弊は、自治体の機能低下を招き、府民犠牲へとつながる。労働時間の適正把握を求める厚労省ガイドラインは、残業規制を求める運動による成果。正社員が当たり前、人間らしい働き方を実現する「働くルールの確立」をめざそう。

文化・教育の大切さを発信したい

阪田代議員
（教委支部）

人間は社会的で歴史的な存在であり、自然や文化に親しむことで自分を見つめ直せる。文化や教育の大切さを発信していきたい。

支部の職場は、本庁、出先など分散しており、分会体制の強化と組合員を増やす取り組みが重要。図書館司書や本庁で若い職員の加入があった。粘り強く声をかけることと率直に加入を呼びかけることが大切。引き続き、仲間を増やし、欠員補充などの要求実現をめざしたい。

奨学金制度改善と借換え制度実現を

代議員
（研労組）

子どもと家族を支援できる職員体制を

宮崎代議員
（健康福祉支部）

大阪府の児童虐待対応件数が全国トップレベルで、子ども家庭センターの長時間労働が恒常化している。職員は子どもと家族のために懸命に働いている。支部や分会の要求によって増員されているが業務量に追いついていない。児童福祉法改正で配置基準が変わり、大阪府では約70名の不足となっている。増員だけでなく、新しい人に仕事を教える体制も必要だ。

虐待を受けた子どもは心理的なケアも必要であり、児童心理司の増員も必要。職員が緊張だけでなくホッとして仕事ができる体制をめざす。

働きたくなる職場に！労働組合の大切さ実感

遠山代議員
（急性期・総合医療センター支部）

終日患者対応に追われ、休憩時間が取れないことも多いのに、時間外手当申請に煩雑で職場は混乱している。管理監督者が労働法制を理解していないと大変なる。月4万円を超える返済をしている人もいる。高すぎる学費の改善、給付型奨学金制度の拡充や返済緩和制度など、制度改善を求める運動強化が必要。地方職員共済組合やろうきんなどでの有利な借換え制度の実現を求める。

最前線で誇りをもって働きたい

吉岡代議員
（現業評議会／総務農林支部）

現業職員は、守衛、電話交換、設備管理、検査補助、調理などの業務を担っている。業務の外部委託が進み、一般行政職への転任も実施され、現業職員は減少している。そのため一人職場や雇用条件の違う職員が同一業務を行う職場も増えている。

私は本庁で守衛をしている。守衛の仕事は縁の下の力持ちのような業務で、心身ともに疲労しているが、現場が好きで業務に誇りを持ってがんばりたい。

「来てよかった」と言われる専門校に

奥田代議員
（商工労働支部）

府内に6校の職業技術専門校がある。就職のための資格や技術習得を指導している。専門校は不便な立地で、授業費の有料化もあり、生徒が募集定員に満たない。

運動を3年半にわたって続けてきた。独法化されたが、利益優先でなく、府民の公衆衛生を守る役割を果たす職場を守ることができた。

新労働組合も立ち上げ、業務水準の維持と勤務労働条件の向上に取り組んでいる。交渉の末、労働者を保護する内容を盛り込むことができた。今後も府職労の一員としてがんばっていく。

憲法について仲間といっしょに考えよう

山上代議員
（保健所支部）

「戦争はいや」「核兵器廃絶」「子どもらを戦場に送らない」という思いから「ほけんしょ9条の会」を設立した。今年は「憲法カフェ」を行い、憲法の立憲主義と自衛隊を憲法9条に書き込む改憲案の危険性、さらに北朝鮮のミサイル問題などの話を聞き、ケーキを食べながら意見交換した。

権力が乱用され個人の自由を侵害する恐れを監視するのが憲法だ。憲法9条に「自衛隊」を書き込めば、今の自衛隊とは全く別物となり「戦争できる国」となる。住民の命を守る仕事をする

共済制度は助け合いの活動

兎内代議員
（府税支部）

職場に配属された今年度の新規採用職員が組合に加入した。若い職員の加入は、他の組合員にも影響を与え、職場集会も明るくなり、建設的な話題が多くなった。

自治労連セット共済の加

仲間を増やして待遇改善を勝ち取りたい

藤枝代議員
（急性期・総合医療センター支部）

非常勤で手話通訳をしている。府立5病院の非常勤職員にも労働契約法が適用され、病院労組のたたかいもあって、2017年4月以前採用の非常勤職員は、無期転換可能となった。しかし、それ以降は更新が5年上限となり、再応募には6ヶ月のクーリング期間が必要となる。事実上の首切りだ。

非常勤職員はスキルを発

実質一人で業務を担う「ワンオペ部署」が増えていると思う。悩みを共有する人も見つからない中でそれぞれ必死に頑張っている。

この間の職員削減と相対評価制度のせいで、多くの優秀な職員が大阪府を辞めて他の自治体や民間企業に就職していった。大阪府は今すぐこの方針を転換して、職員を増やし、相対評価制度を中止すべきだ。

来賓

大阪自治労連執行委員長　荒田　功さん

福祉医療の拡充を求める大阪実行委員会　坂元いずみさん

日本共産党大阪府常任委員　渡部　結さん

府職労退職者会会長　笹江　昭雄さん

大会役員のみなさんご苦労さまでした

大会議長
小西代議員
（総務農林支部）

大会議長
中曽根代議員
（保健所支部）

大会運営委員長
谷澤代議員
（国際がんセンター支部）

を変えられると思う。今は無関心の青年たちにも労働組合の大切さを知ってもらえるよう行動したい。

支部の要求交渉で増員を実現

橋田代議員
（国際がんセンター支部）

国際がんセンターが開院し8ヶ月が経過した。リハビリテーション科で言語聴覚士として、食べる機能が失われた患者の嚥下訓練などを行っている。支部の交渉でスタッフ増員を要求し、言語聴覚士が1名増員された。理学療法士や作業療法士などスタッフは12名いるが、リハビリ件数が増加し、残業が蔓延している。職場の要望をまとめ、支部で増員要求した結果、来年度は6名の新規採用が実現する。

今年度から書記長になったが「職場に組合があって当たり前」「みんな組合に

藤原代
（総務農林

ベストセラー「日本で一番大切にしたい会社」の著者である法政大学の坂本光司さんは、企業が最も大切にするべきことは、株主や自社・取引先の利益ではなく「社員とその家族の幸せ」と話している。伊那食品工業（長野県）は社是に「いい会社をつくりましょう」を掲げ、会社は会社を構成する人々の幸せの増大のためにあると創業者は語っている。25名の社員募集に対し、全国の有名大学から毎年1000名以上が応募しているそうだ。

一方で、賃金・労働条件の改悪が続く大阪府に入りたいという若者が減っている。職員も削減され続け職員は疲弊しきっている。府民のために働きたいと高い志を持つ職員を守り、育てていかなければならない。「府庁版働き方改革」のもと、私の職場でもアイデアを出し合い職員の負担が分

人間らしい働き方を実現する「ルール」を

池邉代議員
（府税支部）

日本経済は行き詰まり、格差と貧困が広がっている。大企業のモラルは低下し、違法な長時間労働やパワハラ、過労死、残業代不払いなど、異常な働き方が広がっている。政府が示す

山本代議
（環農水研労

環境農林水産研究所の独立行政法人化から5年が経ち、大阪府の運営交付金削減が続いている。プロパー職員も増加するもと、自治体労働者としての自覚を高め、公設試験研究機関としての使命を守るためにも、安定した運営交付金が必要。

奨学金の返済に苦労をしている若い職員が多くいる。緊急事態に対応し、職員は疲弊しながら、それでも府民のためにとがんばっている。

いい仕事をするためには、仕事をがんばるだけではなく、体を休め、家族や友人とリフレッシュするなど、バランスが大事。職員を増して対応するのが当然。

職場の課題を解決するためには、職場で組合員が増え、広げていくことが必要。青年や新規採用職員に加入を呼びかけ、広げていきたい。

府民の公衆衛生を守る研究所を

中田代議員
（健安研労組）

府立公衆衛生研究所は4月より大阪市立環境科学研究所と統合・独法化され、大阪健康安全基盤研究所となった。住民団体と共同した

中小企業の技術支援のできる研究所に

渡辺代議員
（産技研労組）

府立産業技術総合研究所は、大阪市立工業研究所と統合され、大阪産業技術研究所として発足した。独法化や法人統合されても、役割や使命はかわらず、中小企業の技術支援を通じ府民の福祉向上に努める。研究所の統合に向け、勤務・労働条件について交渉を重ねてきたが、現在も就業規則

を理解していないと大変な事態になる。労働組合のチェックが必要。働く者として学ぶことの大切さを実感している。

府立5病院の名称から「府立」が消えた。診療報酬や診療密度を上げるため、入院期間の短縮や多数の検査等の実施も指導されている。検査部門では、検査件数は年々増え続け、職員は医療事故の不安を抱えている。

引き続き、福利厚生、給料、労働条件の改善など、みんなが働きたくなる職場をつくるためにがんばる。

り、生徒が募集定員に満たず、指導員が専門性を生かせない状況になっている。

支部は人材不足を補う人材育成ができる専門科の設置や科目の見直しを求めるなど、府の労働施策の一翼を担えるよう取り組んでいる。訓練生に「来てよかった」と言われる専門校をめざすとともに、働きやすい職場になるようがんばる。

厳しい職場環境だからこそ労働組合が必要

小山代議員
（健康福祉支部）

福祉職場では、多くの職員が子育てしながら働いている。育児に関する制度を利用しながら働き続けることは大切。そのためには職場の体制と協力が必要。専門職種も多いため、産育休の代替は正規職員を求めているが、この間、人員不足を理由に非常勤や臨時任用で対応している状態となっている。支部は職場実態を背景に福祉部と交渉し、支部ニュースで伝え、組合加入も呼びかけている。職場では組合員が配布物やとりまとめを分担して対応してくれている。厳しい職場環境だからこそ労働組合が必要だと確信をもって取り組みをすすめる。

安心・安全の地域医療を提供するために

久内代議員
（はびきの医療センター支部）

産婦人科病棟では、地域の産婦人科の閉鎖に伴い年間1000件近い分娩件数があり、婦人科手術や処置も年々増加している。毎日200人を超える外来診察

自治労連セット共済の加入者倍増キャンペーンでは、全組合員にその意義を伝えて協力を依頼した。健康告知に該当する組合員も加入できるようになり、さっそく共済加入した。まさに助け合いの組合活動だと実感している。

当たり前の組合活動の大切さを実感

田中代議員
（総務農林支部）

支部の泉州農と緑分会では職場集会を1年で10回開催し、職場のことを話し合っている。日常的な組合活動を通じ、組合員も増えている。分会長は「当たり前のことをやっているだけ」と言っているが、あらためて当たり前の活動の大切さを実感している。セット共済拡大の取り組みでは、休暇も取って職場をまわって目標達成できた。そのことが、次の活動へとつながっている。職場で一緒にがんばる仲間を増やしたい。青年組合員を大切にして、支部青年部体制を確立したい。

職員を増やし、相対評価中止を

鶴代議員
（土建支部）

「人が減らされて、みんな必死で仕事をしている。一方で残業するなと言われる。どうしろと言うのか」「心を病んで休んでいる人も増えている」「病気になっても休めない」などの声が職場から出されている。

非常勤職員はスキルを発揮し仕事をしたいと思い、経験や勉強を重ねている。5年雇止めさせない運動を。就職して4年が経つが、職場環境改善のため組合が対応してくれた。組合員を増やして待遇改善を勝ち取りたい。

災害時に府民の命を守る職員体制を

不死原代議員
（土木現場支部）

土木の出先事務所は台風21・22号の影響による災害対応に追われている。職員に過度な負担を強要しないよう都市整備部に緊急申し入れも行った。職員削減の影響が今回の災害で露呈し、予想される南海トラフ地震のときに、府民の命を守る体制をとることが難しいと感じた。危機管理の観点からも職員増をめざす。

セット共済拡大キャンペーンでは、各支部のがんばりに励まされ、職場組合員の協力もあり、90名が加入した。対話活動の大切さを実感した。職場要求を集約し、職場環境改善をめざしたい。

（代議員発言4面へつづく）

執行委員長
有田　洋明

労働組合運動で要求前進

維新府政のもと、賃金カット、職員削減、異常な長時間労働、相対評価導入など、さまざまな攻撃が続いた。この間の府職労運動によって、府当局も「人員削減できる余地はない」「これ以上の削減は一定の限界」と認めざるを得なくなり、一律的な人員削減に歯止めをかけている。病院職場では、看護師を中心に職員の大幅増を勝ち取り、サービス残業の根絶と長時間労働の是正に向けたワーキンググループも設置させている。住民とともに仕事や職場実態を明らかにし、住民世論と運動を背景にした要求交渉に発展させよう。公務公共で働く職員の賃金のあり方も社会的な合意形成をつくることが重要。21年ぶり「人勧完全実施」は粘り強くたたかって勝ち取ったもの。全ての労働者の賃上げ、最賃時給1500円実現に向けた取り組みを強化することが求められている。

住民のため誇りをもって働こう

職員は絶えず住民と対立させられ「住民福祉のため」という地方自治の本旨や仕事への「誇り」までも奪われる実態にある。「府民の役に立ちたい」という使命感が大阪府の役割を支えている。やりがいある仕事をするために、住民要求実現の先頭に立って奮闘しよう。

憲法の実践者として全力をあげよう

安倍首相は、9条を改憲し、海外での無制限の武力行使を狙っている。もしそうなったら「仕事やくらしはどうなる」「子どもたちの未来は?」と一人ひとりが想像力を働かせ、まわりに働きかけることが憲法を守る大きな力になる。戦前の自治体労働者が国民を戦争へと駆り立てた反省から、公務員を全体の奉仕者と位置づけ、憲法を守る義務を課した。住民福祉を守る最前線にいる労働組合として、憲法で保障する国民の権利を現実のものにするため、憲法の実践者として全力をあげよう。

府職労は組合結成70年を迎えた。この定期大会が新たな前進への出発点となり、歴史的な大会になるようみなさんの活発な討論をお願いしたい。

委員長あいさつ
70年の歴史と新しい運動でさらなる飛躍へ

公共図書館の本質を発揮する図書館に

山田代議員
（教委支部）

昨年度から中之島図書館でも指定管理者制度が一部導入された。誰もが生きていくうえで必要な資料・情報に確実にアクセスすることを保障するという公共図書館の本質を発揮するため、資料を収集、保存、整理し、提供できる体制を整える図書館となるよう注視していく。

２０１３年度以降、毎年、司書を採用している。しかし、年度当初の欠員は解消されていない。少数職種の欠員は職場にとって大きな負担。変則勤務であるうえ、女性職員も多く、ライフステージの変化に伴う問題など、働き続けるためにはさまざまな問題に直面する。労働組合があることの重要性を実感している。今年度2名が組合加入した。組合の活動をつないでいくためがんばる。

働きやすい職場をつくる活動を

（保健所支部）

「職場を働きやすくするつどい」に参加したことをきっかけに、職場環境の改善をめざすため、職場環境に関するアンケートを実施した。その結果を安全衛生委員会で話し合い、空調や照明問題で一定の改善があった。労働時間の適正把握を求める厚労省ガイドラインを職場集会で学び、申し入れも行った。

働きやすい労働環境をつくるため、労働安全衛生委員会や職場でできることがたくさんあることに気づいた。今後は劣悪な職場環境であっても「我慢することこそ公務員」というような風潮を払拭できるよう活動を続けていきたい。

定年退職を迎える組合員 再任用等の組合員 のみなさんへ

①自治労連セット共済、②火災共済、③自動車共済、④個人賠償責任共済の取り扱いについてお知らせします。

セット共済、火災共済、個人賠償責任共済、自動車共済等に加入している組合員で、４月以降、再任用（再雇用）も非常勤もしない方は３月末までに手続きが必要になります。

４月以降の雇用

再任用(再雇用)または非常勤として働く

引き続き、府職労に加入することで、
①　自治労連セット共済
②　火災共済
③　自動車共済
④　個人賠償責任共済
に継続加入できます。
※組合員はセット共済を64歳まで継続できます。65歳以降はシニア共済への移行が必要になります。

満期が来てからでは、シニア共済への移行はできません。
２月23日(金)
までに済ませてください。

府や府立病院･関係職場で働かない

再任用(再雇用)・非常勤も含め、**府を完全にやめるまでに退職者会に加入**することで、
②　火災共済
（掛金は年払いとなります）
③　自動車共済
④　個人賠償責任共済
に継続加入できます。

①　セット共済は、今年８月の満期以降、継続はできません。シニア共済への移行を希望する方は、退職までに退職者会に加入のうえ、移行手続きを完了してください。なお、現在加入しているセット共済は満期（８月末）まで継続できます。

勤続20年･30年組合員への記念品 子どもの入学･卒業のお祝い 給付申請について

府職労では、組合員の福利厚生の一環として、勤続20年・30年組合員への記念品と子どもの入学・卒業のお祝いを給付しています。

該当の組合員は職場・支部役員を通じて、給付申請してください。

給付対象となる組合員

①長期組合員20年【１万円相当の図書カードか旅行券】
1997（平成９）年４月２日から1998（平成10）年４月１日の間に加入した組合員
②長期組合員30年【１万円相当の図書カードか旅行券】
1987（昭和62）年４月２日から1988（昭和63）年４月１日の間に加入した組合員

③小学校入学記念品【3000円相当の図書カード】
2018年４月に小学校入学する子どもをもつ組合員〔2011（平成23）年４月２日～2012（平成24）年４月１日生まれの子〕
④中学校入学記念品【2000円相当の図書カード】
2018年４月に中学校入学する子どもをもつ組合員〔2005（平成17）年４月２日～2006年（平成18）４月１日生まれの子〕
⑤中学校卒業記念品【2000円相当の図書カード】
2018年３月に中学校卒業した子どもをもつ組合員〔2002（平成14）年４月２日～2003年（平成15）４月１日生まれの子〕

※本年度末退職者で、組合員期間が20年、30年となる組合員については給付対象とします。また、昨年対象となっていたにもかかわらず、手続きミス等で受給できなかった組合員についても給付対象としています（過去３年まで）。これらの特例ケースについては、その旨を余白に明記してください。なお、事由発生時点に組合員でなかった場合は支給対象外です。

※夫婦ともに組合員の場合は、それぞれが給付対象となります。

申請の期限　**２月23日(金)**　**給付時期**　３月15日(木)以降、支部ごとに給付します。

セット共済とプラスで備えは万全
個人賠償責任共済 示談代行付
満期更改と新規加入募集！

年間掛金 **1,200円**

最高補償額 2億円

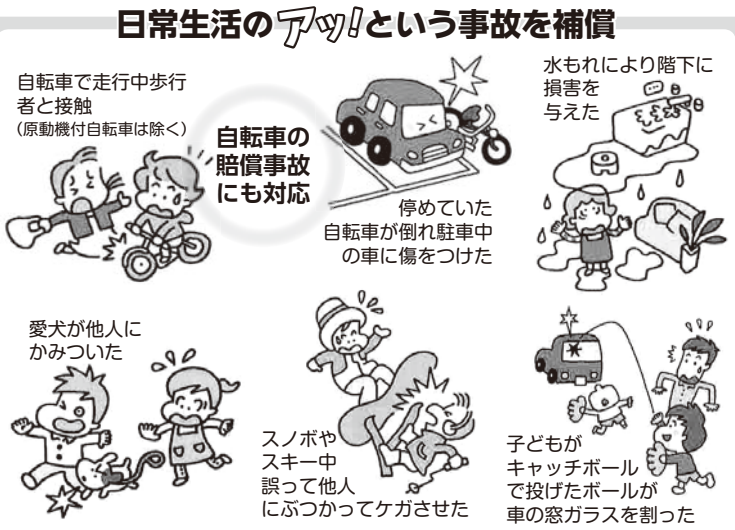
交通事故共済金 最高 10万円
組合員本人が交通事故により、死亡・後遺障害となった場合の見舞金

補償期間　毎年４月１日から１年間
募集期間　２月23日(金)まで
補償の範囲　組合員のご家族も自動的に補償します

- 加入者本人および配偶者
- 加入者本人および配偶者と生計を共にする同居の親族
- 加入者本人または配偶者と生計を共にする別居の未婚の子

※親族とは加入者本人の６親等以内の血族及び３親等以内の姻族
※ご夫婦とも組合員の場合、どちらか１名の加入で家族全員が補償の対象に

日常生活のアッ!という事故を補償



※共済金が支払われない場合もあります。詳しい内容は募集ビラをご覧ください。

※それぞれお問合せは府職労☎06(6941)3079まで